



寿都の未来を あなたとともに

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 広報紙 2024年1月号（No.53）

2023年10月寿都町議選 未来を担う若手二人が当選

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今回は、久しぶりの町民の会からのお知らせです。すこし時間がたちましたが、昨年10月3日に行われた寿都町議会議員選挙を振り返ります。この選挙では、定数9に対して12人が立候補するという大激戦になりました。3年前にわが町に浮上した核ゴミ問題がその最大の要因でしょう。北海道新聞の事前アンケートによると、核のゴミの調査に賛成している候補は5人、反対している候補は7人でした。結果は、賛成派は5人全員が当選したのに対して、反対派は4人の当選となりました。一方で、賛成派の得票率は51%、反対派の得票率は49%と拮抗していました。

賛成派が候補を調整して多数を占めたのに対して、反対派は候補を絞り込めなかったことを反省する必要があります。でも希望もあります。寿都の未来を担う若い議員が二人当選しました。若い彼らは核のゴミ問題のみならず、ひろく町づくりの課題を訴え、支持を広げました。今後、核のゴミの調査をはねのけたとしても、私たちの町には様々な課題が残されます。そのときには賛成派も反対派も関係なく、いっしょに考えていかねばなりません。将来の町を担う若い議員の誕生は喜ばしいことです。みんなで支えていきましょう。



元高知県知事
キャスター

橋本大二郎さん来町講演

12月10日、元高知県知事でニュースキャスターである橋本大二郎さんが町民の会の招きに応じて寿都に来町され、講演してくださいました。

橋本さんが寿都にいらっしゃるの二度目となります。以前来たときには74歳の前期高齢者だったのに、76歳の後期高齢者となった、つまり、コウコウ2年生ですという笑い話から、講演が始まりました。そして、ここ数ヶ月の原子力にかかわる諸問題をお話しになりました。ひとつは福島の処理水放出、ひとつは長崎県対馬市の文献調査応募にかかわる問題です。160億円の水揚げ額があるのに、20億円の交付金を受け取って風評被害が出たら、国はどうするのか、と対馬市長が聞いたことに対して、国は対策は考えていない、対策に交付金20億円を使うのは差し支えないと返事したそうです。対馬市長はこの返答で調査反対を打ち出しました。橋本さんもその判断は妥当であると評価されていました。

また、片岡町長が泊原発で核のゴミが出ているのだから、どこかで受け入れなくては行けないと主張していることに対して、そこには誤解があると指摘されました。

橋本さんがおっしゃるには、**泊原発で出るのは使用済み核燃料であり、いま寿都以文献調査を進めているのは高レベル放射性廃棄物というまったく別のものなのです。**高レベル放射性廃棄物は、全国原発から出る使用済み核燃料を再処理して核燃料サイクルを行うために生まれるものです。ところが、核燃料サイクルは1970年代から構想があるものの、いまだに実現していません。まともな自由競争のなかでは成り立たないものです。止めるべきものから生み出される高レベル放射性廃棄物を埋める処分場は日本のどこにも必要ありません。だから、核燃料サイクルを前提とした最終処分場の受け入れや調査にノーを言うことにためらう必要はありません。



高レベル放射性廃棄物と使用済み核燃料を区別して考える必要があります。寿都の人たちが、核のゴミ反対と言うことは、後ろめたいことではないのです、という言葉いただきました。

最後に、興味深い話を橋本さんはなさいました。寿都に来るにあたって、人口問題の専門家に取材してきたそうです。いま全国的に人口減少が進んでいます。乳幼児人口も減っています。日本全国では2019年から2023年にかけて13%も乳幼児人口が減ったそうです。とくに、原発立地自治体はその傾向が強く、乳幼児人口が26%から37%の割合で減少したといます。ところが、核のゴミをはけのけた東洋町は乳幼児が6%増えているそうです。そして、寿都も11%増えているのだそうです。原因を詳しく調べたわけではない、とお断りにはなりましたが、寿都に来て食べた美味しい魚介類のポテンシャルを強調し、結果の見える交付金に頼ることや核のゴミ調査に手を挙げるのが何を意味するのか考えましょう、それ以外の道で町が活性化する方法を考えましょう、と講演をしめくくられました。

橋本大二郎さんの講演会には 74 人が参加してくださいました。アンケートをお願いしたところ、50 人の回答がありました。その結果を一部紹介いたします。

Q. 寿都町には、地層処分地選定調査の次の段階である「概要調査」を受け入れるか否かの住民判断に「住民投票条例」が制定されていることをご存じですか？
⇒おおよそ 75%の人が住民投票条例があることをご存知でした。

Q. 住民投票条例は、投票率が 50%以上でなければ開票しないことをご存じですか？
⇒ほとんどの方がこの開票条件があることをご存知でした。

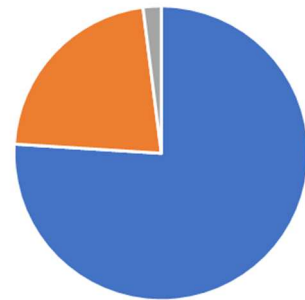
Q. 寿都町の住民投票条例を、どのように思いますか？
⇒「不満」「分からない」という回答が目立ちました。

Q. 地層処分地選定調査を町民に理解してもらうために、「対話の場」が行われている事をご存じですか？
⇒ほとんどの方が「対話の場」のことをご存知でした。

自由回答にもたくさんの意見がありました。一部を紹介します。

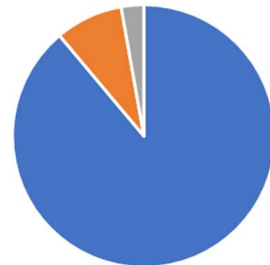
- ・核のゴミは良いものと思う人は少ないと思うので最終処分へ進むべきではない。
- ・賛否関係ない議論の場を作って！（町長・議員・役場に対して）
- ・昔の寿都に戻りたい。
- ・行政は住民の上にいるではありません。住民階層の下であり、サービス業であることを今一度認識して欲しい。議会は住民の代表として行政を監視することを忘れないで。
- ・立ち直れ、寿都。

住民投票条例を知っている？



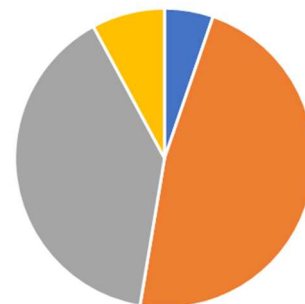
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

投票率50%の開票条件について



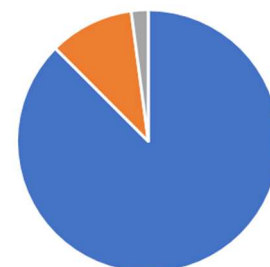
■ 知っている ■ 知らない ■ はじめて知った

住民投票条例に満足？



■ 満足 ■ 不満 ■ 分からない ■ 無回答

「対話の場」について



■ 知っている ■ 知らない ■ はじめて知った

・町長自ら実行したことについて町民に賛否を問うのはおかしい。自ら白紙に戻して欲しい。寿都は歴史ある町、ふるさとを誇りに思う町にしたい。

・寿都は交付金で今は潤っているように見えるが、町民に覇気が見られない。

・核ゴミは埋めて見えなくしてしまうことにそもそもダメだと思う。うまく言えないけど。

・話を聞いて、やはり寿都は核ゴミ以外の道を選ぶべきだと思った。自力でできるはずなのに核ゴミ町になったら寂れるだけ、誰も来ない。美しい寿都を守って欲しい。

・国内では最終処分場の適任地はないと思う。地震がどこで発生するかわからない日本列島では難しい。北欧等地層が安定した地域に最終処分場を建設してもらい、そちらでの処分が現実的だと思う。

・一次産業振興を続けて欲しい。私自身も国や道への要請を探ります。町民の元気に接して良かったです。久しぶりに寿都に来て懐かしい町並みでした。

・町長に考えを変えて欲しい。概要調査は受け入れないと言って欲しい。

美味しい我が故郷⑩



これ、なにか分かりますか？

ホッケのこっこの塩漬けです。生のホッケの卵をよ〜く洗って血抜きをして塩に漬けます。ここでは、赤唐辛子の輪切りと生姜の千切りを加えました。大根や人参を入れるのもあります。寿都でも作っている人は少なく、扱っている店もあまり聞きません。でも、美味しい！

町民の会川柳⑫

だいじろう？ ああ原田かい ちがうって！
スマホデビニュー 3年経っても 孫頼り
処理水は 安全と言いつつも
スラリー（処理後に残る汚泥）は
味くらべ 毎年楽しみ 鮓の飯寿司
雪景色 寒さも忘れる 銀世界
核ゴミの アレルギーか？ 小女子来ない
物価高 続く高値に 財布麻痺
食べらさるゝ 旨いイクラに 進む米
こうこう（後期高齢）で ついに掴んだ 金免許
ギザ付きの十円 十一円で買わないか？
いま話題 我が町ないか キックバック
新人が ふたまわり下 おそろしい
若い頃 雑誌の次号 待っていた
やはりある 仲間も認める 風評被害

(た) (た) (た) (た) (た) (ま) (ま) (ま) (の) (の) (つ) (つ) (た)

あなたの川柳もぜひお寄せください。
kakugomino@gmail.com

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6

TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com

HP : <http://kakugomi.no.coocan.jp/>

FB : <https://www.facebook.com/106569234530018/>

北海道銀行寿都支店(店番号 304)普通 0481374

ゆうちょ銀行 記号:19070 番号:44246811



2024年1月号 (No.53)